

認め合い自分の思いを表現する心を育てる教育の実践

鳥取県立皆生養護学校

1 本校の教育目標

自己の生き方を探求していく人の育成
～未来を生き抜く力を育むことを通して～

2 福祉教育の目標

- (1) 自分の良さ、友だちの良さを認め、大切にすることを養う。
- (2) 「よりよく生きる」ために、自分たちの人間関係や暮らしを豊かにしていこうとする意欲や態度と共に、他を思いやる心を育てる。

3 実践の報告

自己の生き方を探求していく上で、社会に参画したり豊かな人間関係を築いたりすることを目標に、多様な学習を設定しています。

(1) 地域ふれあい交流

学校周辺の公民館（福生東・福生西・福米東・福米西）と全校の幼児児童生徒が直接交流を行いました。カラオケ、バルーン、手遊び、ボッチャ、ダンス、リアル野球盤などを公民館の方々と一緒に楽しんだり、交流相手の方と積極的にコミュニケーションを取ったりしました。



(2) 近隣地域校との交流及び共同学習

① 小学部の交流及び共同学習

小学部は、福生東小学校、福生西小学校、福米西小学校と交流を行いました。それぞれの学校と2回ずつ行い、1回目は本校で活動し、2回目は相手校の子ども達が考えた活動を行いました。交流では、ボッチャやバルーン、ダンス、風船はこびりレー、皆生養護ガッコ王〇×クイズ等を行いました。活動する中でお互いが楽しくふれあう様子が見られ、両校の児童に笑顔が溢れるとても有意義な交流となりました。



②中学部の交流及び共同学習

中学部は、福生中学校とボッチャで交流を行いました。交流では、生徒がルールの説明を行ったり、事前学習で考えたボッチャクイズを相手校生徒に出したり、本校生徒が出場したボッチャ甲子園について話したりしました。また、各グループに分かれて試合も行いました。お互いに相談しながら活動に取り組むことができ、両校生徒間での絆を深めることができました。



③高等部の交流及び共同学習

高等部は、境港総合技術高等学校と米子南高等学校と交流を行いました。境港総合技術高等学校とは2回の交流を行いました。1回目の交流では、本校生徒がボッチャでの交流を企画し、説明をしたり相手校と混合のチームを組んで試合をしたりしました。2回目の交流では、相手校の企画したゲームと一緒にプレーして楽しみました。米子南高等学校とは、本校と相手校の生徒同士でペアを組み、eスポーツで交流を行いました。同年代の生徒と一緒に活動する楽しさを味わい、人と関わろうとする意欲を高めることができました。



4 おわりに

本年度は、新型コロナウイルス感染症流行以前まで交流していた相手校と、多く交流に取り組むことができました。再度交流に取り組むにあたって、幼児児童生徒の実態を踏まえて改めて交流内容や参加方法等を検討することで、個々の実態に応じた交流を行うことができました。福祉教育の観点から、幼児児童生徒がどのように学校の外に発信し、自分たちなりの方法で相手に伝えていくのかをより深く考え、試行錯誤する姿が多く見られました。また、同じ活動と一緒に取り組むことで、人と触れあったり関わったりする楽しさを感じることができ、本校の福祉教育の目標の「自分の良さ、友だちの良さを認め、大切にすることを養う」に近づけたと思います。今後も、交流活動を通して人とのふれあいを大切にし、様々な形で社会参加していけるよう指導・支援に取り組んでいきたいと考えます。